

平成16年6月期 第二級陸上特殊無線技士 試験問題

法規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問

法 規

〔1〕 次の文は、無線局の通信の相手方の変更等に関する電波法の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「免許人は、通信の相手方、通信事項若しくは無線設備の設置場所を変更し、又は無線設備の変更の工事をしようとするときは、あらかじめ総務大臣のを受けなければならない。」

- | | |
|--------|-------|
| 1. 再免許 | 2. 指示 |
| 3. 審査 | 4. 許可 |

〔2〕 無線局の予備免許が与えられるときに指定される事項は、次のどれか。

1. 空中線電力
2. 無線局の名称
3. 免許の有効期間
4. 無線設備の設置場所

〔3〕 電波法に規定する電波の質は、次のどれか。

1. 信号対雑音比
2. 変調度
3. 電波の型式
4. 高調波の強度

〔4〕 電波法に規定する「無線従事者」の定義は、次のどれか。

1. 無線設備の操作又はその監督を行う者であって、総務大臣の免許を受けたものをいう。
2. 無線設備の操作を行う者であって、無線局に配置されたものをいう。
3. 無線従事者国家試験に合格した者をいう。
4. 無線設備の操作を行う者をいう。

〔5〕 無線従事者がその免許証の訂正を受けなければならないのはどのような場合か、次のうちから選べ。

1. 上級の資格の免許を受けるとき。
2. 本籍の都道府県を変更したとき。
3. 氏名に変更を生じたとき。
4. 住所を変更したとき。

〔6〕 無線従事者は、免許の取消しの処分を受けたときは、その処分を受けた日から何日以内にその免許証を返納しなければならないか、次のうちから選べ。

1. 7日
2. 10日
3. 14日
4. 30日

法

〔7〕 無線局において、「非常」を前置した呼出しを受信した場合は、応答する場合を除き、次のどれによらなければならないか。

1. 直ちに付近の無線局に通報する。
2. すべての電波の発射を停止する。
3. 直ちに非常災害対策本部に通知する。
4. 混信を与えるおそれのある電波の発射を停止して傍受する。

〔8〕 無線従事者の免許を取り消されることがある場合は、次のどれか。

1. 免許証を失ったとき。
2. 電波法に基づく処分に違反したとき。
3. 日本の国籍を有しない者となったとき。
4. 引き続き6 か月以上無線設備の操作を行わなかったとき。

〔9〕 無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認められるとき、その無線局についてとられることがある措置は、次のどれか。

1. 免許を取り消される。
2. 空中線の撤去を命ぜられる。
3. 臨時に電波の発射の停止を命ぜられる。
4. 周波数又は空中線電力の指定を変更される。

規

〔10〕 電波法に違反して運用した無線局を認めたとき、電波法の規定により免許人がとらなければならない措置は、次のどれか。

1. その無線局の免許人を告発する。
2. その無線局の免許人にその旨を通知する。
3. 総務省令で定める手続により総務大臣に報告する。
4. その無線局の電波の発射を停止させる。

〔11〕 基地局の免許状は、掲示を困難とする場合を除き、次のどの箇所に掲げておかなければならないか。

1. 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所
2. 受信装置のある場所の見やすい箇所
3. 通信室内の見やすい箇所
4. 無線局の適当な箇所

〔12〕 業務書類のうち、固定局に備え付けておかなければならないものは、次のどれか。

1. 局名録
2. 無線検査簿
3. 無線設備の機器の保守手引書
4. 無線従事者選解任届の写し